

全課ヒアリングでの主な意見

I 男女共同参画意識が定着したまちづくり

1 地域活動における男女共同参画の促進のための情報提供や学習機会の提供

3 市民団体における男女共同参画の促進のための情報提供や学習機会の提供

- ①課が独自に、男女共同参画促進のための情報提供や学習会の開催をすることはできない。
- ②各種団体が学習会をする際、テーマとして男女共同参画を提案することは可能。
- ③各種団体の会議等で、人権・男女共同参画課が話す時間を設けることは可能。
- ④各種団体の会議等で、人権・男女共同参画課から提供する資料を配布することは可能。

【課題】団体の特性に応じた手法の検討

11 男女共同参画の視点からの市の広報物に関するガイドラインの作成

18 性別による固定的な役割分担意識を助長する表現の見直し

- ①不適切な表現に気づいていない可能性がある。
- ②市として共通のガイドラインがあれば判断しやすい。

21 市職員の意識の向上

- ①業務多忙な中、全員が研修に参加するのは難しい。
- ②全員参加せずとも、課内で研修内容を共有すれば、良いのではないか。
- ③自由参加ではなく、参加者指名の方が参加しやすい。
- ④研修受講時間を柔軟に選べ、自席で受講できるオンラインでの研修が参加しやすい。
- ⑤オンライン研修は意味がない。対面による研修が効果的。
- ⑥窓口業務のため、自席でオンライン研修を受講することはできない。
- ⑦庁内LANのパソコンがないため、オンライン研修は不可

【課題】他市や企業等の好事例の把握

34 教職員・保育士への学習機会の提供

- ①学習会では、男女共同参画に関すること以外にも学ぶべきテーマがある。
- ②研修の年間計画は、年度当初に決まっているため、前年度中からの準備・協議が必要。
- ③保育士の研修会は、業務終了後に行っている。業務時間中の開催は困難。

【課題】時間の制約やオンライン開催の困難

II 男女がともに働きやすいまちづくり【女性活躍推進計画】

40 就職・再就職・起業を支援する仕組みづくり

- ①現在のところ、各種就労支援講座受講生への継続的な関わりはない

【課題】多様なニーズの把握

Ⅲ 男女がともに活躍するまちづくり

53 審議会等の女性委員比率向上への具体的な取組の実施

- ①必要な専門分野に女性が少ないことを解消しないと、担当課の努力だけで解決できない。
- ②女性比率向上より、きちんと審議をしていただける方に委員になっていただきたい。
- ③男女どちらの候補者もいる場合は、女性を推薦していただくようにしている。
- ④特定の女性が多くの審議会委員になるようでは本末転倒である。
- ⑤女性比率のみで判断するのではなく、現実を見てほしい。

【課題】女性が少ない分野への対応

55 市職員の管理職の女性比率向上

- ①管理職の男女比のみでなく、その年齢層の職員数の男女比も併せて見る必要がある。
- ②性別に関係なく、管理職になりたくないと考えている職員が増えている。
- ③管理職になりたくない人の意見も尊重する必要がある。

【課題】ロールモデル（お手本となるような人物）の紹介、多様な生き方への理解促進

66 人材バンクの整備

- ①岸和田市女性人材バンクについて、知らない職員が多い。
- ②複数の課に人材バンクがあるが、庁内の人材バンクをひとつにまとめて管理する必要があるのではないか。

【課題】人材を見出し、つなげる仕組みづくり

Ⅳ 男女がともに安心して暮らせるまちづくり

76 DV対応マニュアルの整備

- ①DV被害者の定義も記載してほしい。
- ②一時保護に関する諸手続き、各課の役割を記載してほしい。
- ③全庁共通のマニュアルがあれば、各課マニュアルは必要ないのではないか。

106 多様なニーズに対応するための相談体制づくり

- ①対応する窓口が定まっていないものがある

111 男女共同参画の視点からの避難所運営

- ①男女で考えることは必要であるが、体力的に女性には負担があるにも関わらず、男女を一緒にするのは違うと思う。
- ②男女で役割を固定することは望ましくないが、各自得意なことを担当するのは悪いことではない。

【課題】平時からの男女共同参画意識の定着
避難所運営の機能確保と男女共同参画のバランス